

和泉のコブハクチョウ「コーちゃん」お怒り

池に油流出、自慢の羽傷む

和泉市鶴山台2の志保池 からだ。流出原因は不明だが、暮らす雄のコブハクチョウ「コーちゃん」が怒っている。池に油が流出し、自慢の白羽を傷めてしまった

住民ら「故意なら許せぬ」



油が付着していたため地域住民らに洗われるコーちゃん

許せない」と憤っている。コーちゃんは推定20歳で体長約1メートル。市が府からもらい受け、周辺住民でつくる「志保池を守る会」が世話をしている。12日午後までに流出した油で、首周辺が黄ばんだほか、肌荒れを起こして翼の付け根の羽が抜け落ちてしまった。

同会は、日本野鳥の会大阪支部に協力を依頼。湯で溶いた石けんを優しく体にかき、羽づくろいするくちばしの油は歯ブラシで取り除いた。

市によると、油は池の東側を中心に浮いており、吸収シートを張って応急措置をした。

【平川哲也】